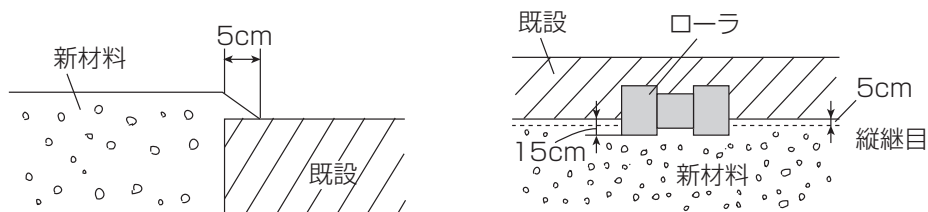


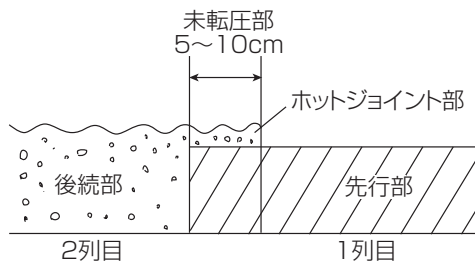
アスファルト混合物の継目の施工の留意点、寒冷期における施工の留意点および、改質アスファルト混合物に対する施工上の留意点について整理する。

1 アスファルト混合物の継目の施工

- ① 継目の施工に先立ち、構造物と接触面、既設アスファルト混合物との接合面には、アスファルト乳剤PK-4を0.3～0.6ℓ/m²のタックコートを施工し、相互に密着させ一体化する。
- ② 横継目の施工では特に平坦性を良くする必要のあることから、横継目の箇所は少ないほうが望ましい。横継目の上下層の位置は、相互に1m以上離し、継目位置を重ねてはならない。また、施工中断または終了時の継目は、仕上がりに等しい高さの型枠を設置して最後の端部まで転圧を完了させておく。ただし、既設舗装の補修、延伸の場合は除く。
- ③ 縦継目は道路中心線に平行に設ける継目で、縦ひび割れや継目の開きがないように、十分締め固める必要がある。表層部の縦継目の位置は、原則としてレーンマークに合わせる。縦継目の上層と下層の縦継目位置は相互に15cm程度ずらし、車輪の直下を避ける。
 - a 縦継目部は図表5-12のようにレーキなどで粗骨材を取り除いた混合物を既設舗装に5cm程度重ねて敷き均し、ローラの駆動輪を15cm程度かけて転圧する。
 - b ホットジョイントは、図表5-13のように二列を平行同時施工する大型工事について行うもので、1列目の縦継目部5～10cm幅を未転圧として、後続する2列目の混合物を敷き均した後、後続のローラで同時に転圧し、縦継目の弱点をなくした継目をいう。



図表5-12 縦継目部



図表5-13 ホットジョイント